



# 防災対策 情報便

発行日	平成 30 年 2 月 28 日
発行元	災 害 対 策 課
所属長	課 長 大石 照男
電 話	06 - 6489 - 6165

## 1 大庄地区の8つの自主防災会が合同防災訓練を実施しました。

実施団体の名称	大庄中央連協自主防災会、大庄西自主防災会、崇徳院自主防災会、道意自主防災会、東自主防災会、武庫川自主防災会、元浜自主防災会、蓬川連協自主防災会
訓練の名称	合同防災訓練（ボートレース周辺の8自主防災会）
訓練日時	平成 30 年 2 月 11 日（日）9 時～正午
実施場所	ボートレース尼崎
参加人数	約 1,000 名
対象者	自主防災会員

### 訓練の概要

津波避難訓練（各自主防災会において町会ごとに集合し、津波等一時避難場所のひとつであるボートレース尼崎まで避難誘導を行い、各門前に集合後、メインスタンド3階へ垂直避難を実施）

情報収集訓練（トランシーバーなどにより住民安否確認及び避難路の安全確認等情報収集を実施）

津波等一時避難場所であるボートレース尼崎について（公営事業所施設管理課）

訓練講評等（災害対策課）

次の①、②各訓練について、20分毎に交替制で全員が各訓練を体験

①避難所運営訓練（災害対策課：ダンボールベッド、パーテーション、簡易トイレの組立て）

②傷病者搬送訓練（西消防署：災害時を想定した毛布等身近なものによる簡易担架等の作成及び搬送方法等）

炊出し訓練（各自主防災会の一部では、地元でアルファ化米等による炊出し訓練を実施した会もある。）

### 訓練の詳細

各自主防災会が町会ごとにボートレース尼崎の西門（大庄中央連協、大庄西、武庫川、元浜）、北門（東）、東門（崇徳院、道意、蓬川連協）に集合し、メインスタンド3階へ避難完了するとともに自主防災会ごとに参集状況を確認し、各自主防災会会長から尼崎市社会福祉協議会大庄支部事務局長へ人数等の報告が行われました。

避難誘導等安全管理については、尼崎市消防団道意分団、浜分団、東分団、西分団の協力のもと各自主防災会が中心となり、各門からメインスタンド3階に約20分程度で参加者全員が避難を完了することができました。

その後、メインスタンド東側の地上階の大屋根下において、災害対策課による避難所運営訓練（ダンボールベッド、パーテーション、簡易トイレの組立て）及び西消防署による傷病者搬送訓練（災害時を想定した毛布等身近なものによる簡易担架等の作成及び搬送方法等）が行われ、合同訓練を終了しました。

各自主防災会の中には、地元において炊出し訓練も行われ、参加者によるアルファ化米などの試食が行われました。



情報収集訓練（北門）



避難訓練（メインスタンド  
3階へ垂直避難）



メインスタンド避難完了



避難所運営訓練（ダンボールベッド、パーティション等）



傷病者搬送訓練（毛布担架）



訓練講評



## 2 食満自治会自主防災会が自主合同防災訓練を実施しました。

実施団体の名称 食満自治会自主防災会  
訓練の名称 自主合同防災訓練  
訓練日時 平成 30 年 2 月 11 日（日）9 時 45 分～正午  
実施場所 南台公園  
参加人数 食満自治会自主防災会会員、消防団園田第 5 分団等 約 80 名  
対象者 自主防災会会員、消防団員

### 訓練の概要

土のう作り及び土のう積み

放水訓練

発電機の稼働訓練

炊き出し訓練

訓練講評

### 訓練の詳細

訓練の進行は消防団園田第 5 分団が主導し、土のう作りや放水訓練等を自主防災会会員へわかりやすく丁寧に説明しながら実施されていました。



土のう積み訓練



放水訓練



発電機の稼働訓練

## 3 尼崎市防災セミナー(企業向け)を実施しました。

平成 30 年 2 月 5 日（月）、尼崎商工会議所において、企業向けの平成 29 年度尼崎市防災セミナーを実施しました。

このセミナーでは、尼崎市における地震・津波被害想定と災害対策について尼崎市危機管理安全局長から報告した後、講師としてお招きした香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 地域強靱化研究センター特命准教授の磯打 千雅子氏から、「取り組み事例から学ぶ事業継続計画（BCP）」と題してご講演をいただきました。

当日は定員を超える 69 団体、114 名の企業の皆様にご参加いただき、事業継続計画への関心の高さがうかがえました。



#### 4 災害時における飲料水の供給等に関する協定を締結しました。

平成 30 年 2 月 7 日（水）、株式会社 MC エパテック（アクアクララ六甲事業部）と、避難所での飲料水の確保を目的とする協定を締結しました。

今回の協定では、災害時に避難所へ飲料水及びウォーターサーバーを提供いただくものですが、尼崎市との独自の内容として、ウォーターサーバー用の非常用発電機の調達・供給もいただくこととしています。このことにより、停電時でもお湯の利用ができることから、食事やミルク等への活用が可能となり、避難所の生活環境の改善、乳幼児や高齢者等の多様なニーズに配慮した避難所運営に資することが期待されます。



#### 5 尼崎市地域防災リーダー研修会を実施しました。

平成 30 年 2 月 22 日（木）、中央公民館において、平成 29 年度尼崎市地域防災リーダー研修会を実施しました。

この研修は、防災力向上の取組みの一環として、兵庫県が実施している「ひょうご防災リーダー講座」を修了された方と、協定を締結している兵庫県防災士会阪神エリアの会員の方を対象に、本市職員との互いのスキルアップと連携強化を目的として実施したものです。

当日は、NPO 法人日本災害救援ボランティアネットワークの寺本弘伸氏、<sup>たかい</sup>高井 <sup>ちづ</sup>千珠氏を講師としてお招きし、地域における防災マップづくりの作成方法（地域防災マップとは、地域防災マップ作成手順、地域防災マップ作成の具体的な進め方、パソコンでの地域防災マップの作成手順）についてご講演をいただきました。

その後、兵庫県防災士会阪神エリアの平成 29 年度の活動紹介や、平成 30 年度の尼崎市の防災関連事業等の予定について説明を行い、今後も地域の防災力向上に向けて協力していくことを確認しました。





講演の様子



防災士会の活動紹介

## 6 危機管理と情報資源の活用についての研修を実施しました。

平成30年2月1日(木)、市政情報センターにおいて、市政課題研修「危機管理と情報資源の活用について」を実施しました。

近年、東日本大震災地震をはじめとする大災害が頻発するなか、本市においても南海トラフ巨大地震等への対策が急務となっています。

そのような状況の中、総務省地域情報化アドバイザーであり、本市が導入を検討している地方公共団体情報システム機構の被災者支援システムの開発者で被災者支援システム全国支援センターのセンター長でもある吉田稔氏を講師にお招きして、各地の災害を見てこられた体験も踏まえて、大災害時における被災者支援への行政の対応についてご講演いただきました。



## 7 今年度も気仙沼市へ職員を派遣しています。

平成29年度派遣状況(平成30年2月28日現在)

気仙沼市 建設部都市計画課土地区画整理室:2名(土木職)

気仙沼市 建設部下水道課:1名(土木職)

派遣期間・・・平成29年4月1日～平成30年3月31日

以 上